

編集後記

本冊子『教職への道』は、前号で30冊目を迎え、今号で31冊目を数えます。

本冊子は、別府大学・別府大学短期大学部で教育職員免許状を取得しようとしている学生向けに発行されてきました。本学教職課程は、別府女子大学の時代にあたる今からおよそ60年前の1951（昭和26）年10月からの開設が当時の文部省より認められました。当初取得できたのは、国語と英語の二教科のみでした。この教職課程の開設から約30年後に本冊子の発行が始まり、今号で早くも31冊目を数えたということになります。

これからの新しい30年間に思いを寄せ、今号より新たに二つのコーナーを設けました。まずは、「教員養成、採用、研修に関する各学科、各課程の取り組み」（38～39頁）です。本学では、学科の先生方とも一体となり、教員養成に力が注がれているところです。そうした取り組みを年度ごとに紹介していくことになりました。

次に、「卒業後の私」（42～43頁）です。本学で教職課程を履修し、卒業後に教師として活躍されている方は数多くいらっしゃいます。今号では、臨時講師をしながら正規採用に向けて奮闘中の川満さん、大学院に進学し奈良県の教員採用試験を見事突破された佃さんの二名に登場していただきました。いずれも平成20年度卒業生です。

一方、教育実習を終えた学生を対象としたアンケートの実施は、平成22年度で4回目となりました。まとめ（37頁）では、これまでの結果との比較により肯定的な回答が増えつつあることが指摘されています。

本冊子を手にした皆さんは、是非とも内容を熟読し、教職課程に関係する指導等がある場合には、かならず持参してください。

「教職への道」は、決して平坦ではありません。在学中に目標を定めて学びを継続して深め、同時に多くの経験を積んで視野を広げ、この道を着実に歩んでいきましょう。数多くの様々な困難に打ち克つ若い力を、学校教育は求めています。

文学部教職課程 今 井 航

教 職 へ の 道 No.31 (2011)

発行日 平成23年3月31日

編集者・発行者

大分県別府市北石垣82
別府大学教職課程委員会
短期大学部教職課程委員会
代表者 川 瀬 泰 治

印刷所 (株)クリエイツ
